

杉戸町今昔往来伝

古きをたずねて
杉戸を再発見

第72回

郷土の偉人・服部北蓮①

昭和時代の書家として知られ、埼玉大学、二松学舎大学の教授を歴任した服部北蓮は、明治三十二年（一八九九）四月三日、田宮村大字佐左エ門（現杉戸町）に、田中栄吉とくにとの七男として生まれました。

北蓮というのは書家としての雅号で、本名を誠一と言いました。

北蓮は、数え年八歳で佐左エ門地内の松田寺本堂を校舎としていた田宮北尋常小学校に入学しました。ここで校長を務めていたのが、後に北蓮の義父となる服部勝井でした。因みに「北蓮」という雅号は、この服部家がある田宮村大字北蓮沼（現杉戸町大字北蓮沼）から付けたものです。

大正五年（一九一六）四月に埼玉師範学校予備科に入学後、北蓮は習字の練習に励み、能書家になりたいという希望を持ちながらも、逡巡していたようです。「習字というものは個人の楽しみであって、発明発見のように人類の多数の者に幸福を与えるものではない。これに生涯をかけてよいのか。」という迷いが、北蓮の心の片隅にあったのでした。

大正十年（一九二一）二月、埼玉師範本科一部を卒業した北蓮は、富多尋常高等小学校

に教師として赴任、その後同十二年には桜井尋常高等小学校教頭に栄転します。

ところがこの年、いわゆる関東大震災に見舞われます。九月一日、始業式をすませ、北蓮が昼食をとろうとしたその時、鳴動と共に大地が揺れ、砂塵が立ち込め、校舎は半倒壊しました。そればかりか、北蓮の自宅も全倒壊したのでした。（つづく）



▲北蓮が幼き頃に学んだ松田寺（田宮北尋常小学校）

（社会教育課 町史・文化財担当編）

杉戸シニアの元気印★

杉戸いきいきあっぷサポーター活動

「いきいきあっぷサポーター」は、サポーター養成講座で認定を受けた住民ボランティアです！

現在、約30名のサポーターが地域で活動中。サポーター自身も体操をし、地域の方との交流などを楽しみながら、活動を続けています！

主な活動について

- ・地域の団体へ月に約16回、サポーターが3人1組となりボール体操を中心とした介護予防体操教室を実施しています。
- ・毎月第1火曜日にサポーター研修会を実施し、教室担当の調整のほか介護予防につながる勉強会等も行っています。

杉戸いきいきあっぷサポーターに関する問合せ

高齢介護課 地域包括支援センター担当 内線302・303



UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザイン(UDフォント)を使用し、読みやすい書体を採用しました。

杉戸町
ホームページ



メール配信
すぎめー



広報スマホ版
マチイロ

